施策名	大　事　項	地球温暖化対策に対する取り組み	海事振興部
	中　事　項	環境負荷の小さい交通体系の構築	
	小　事　項	物流の効率化等 ［内航海運の省エネ・効率化］	

２６年度の計画	経済的で環境にやさしい次世代内航船（スーパーエコシップ：ＳＥＳ）、省エネ効率化船舶等新技術の普及や規制の見直し等各種内航海運活性化対策を推進し、内航海運の競争力を高める。 スーパーエコシップ（ＳＥＳ）は、電気推進システムを採用することにより、ＣＯ２排出量の大幅な削減といった環境負荷低減や大幅な省エネを実現するほか、船内環境（騒音・振動）を大きく改善する最新鋭の船舶である。 また、先進二酸化炭素低減化船は、１９９０年代初頭の船と比較してトンマイル当たりの二酸化炭素排出量が１６％以上低減化される船型を有する船舶である。 今後その建造を支援することで、省エネ・低炭素に寄与する地球にやさしい輸送機関として、その競争力を確保する。
２５年度の計画と評価（達成度）	【計　　画】 経済的で環境にやさしい次世代内航船（スーパーエコシップ：ＳＥＳ）、省エネ効率化船舶等新技術の普及や規制の見直し等各種内航海運活性化対策を推進し、内航海運の競争力を高める。 【評　　価】 平成２５年度においては、九州管内におけるＳＥＳの就航はなかったが、平成２６年２月末現在までに２３隻（内、旅客船２隻）のＳＥＳが竣工しており、旅客フェリーのリプレイスを契機として、省エネ効率化船舶の導入が図られている。 先進二酸化炭素低減化船については、４９９トン型一般貨物船が平成２２年１１月の１番船以来、平成２６年２月末までに１１隻竣工している。また、先般、新たに認定された２つの船舶の船型については、それぞれ以下のとおり竣工しており、いずれも九州管内の造船所であることから、今後もその建造を支援することにより内航海運の競争力が高まることを見込んでいる。 ①3600GT型油送船（5000kl型白油タンカー）　造船所：熊本ドック(株) 「双信丸」・・・平成２６年３月竣工 ②5170GT型セメント船（7000DWT型セメント船）　造船所：(株)三浦造船所 「絆洋丸」・・・平成２６年１月竣工 先進二酸化炭素低減化船「絆洋丸」(7000DWT型セメント船)